

## 釜石線全線開通70th記念「鉄道フェスタ2021 in 遠野」 鉄道ジオラマに熱視線

鉄道フェスタ(遠野市観光推進協議会主催)は1月16・17日、市役所本庁舎多目的市民ホールととびあ特設会場で開かれました。延べ825人が来場。岩手鉄道模型仲間の会が約1,000両の鉄道模型と細部まで精巧に表現されたジオラマを展示し、訪れた市民らを魅了しました。とびあ会場では、震災からの復興支援を図る鉄道グッズや駅弁などの物販会も行われ、人気を集めました。両日とも、検温や入場人数制限などの新型コロナ対策を徹底して開かれました。



1月23日 令和2年度少年少女囲碁・将棋大会

## 優勝目指して腕試し！

囲碁・将棋大会は遠野市民センターで開かれ、市内小学生19人が参加。本年度の囲碁将棋教室で腕を磨いてきた児童が優勝目指して熱戦を繰り広げました。【優勝者】

【敬称略】将棋△低学年／松田大和(遠野小2)、中学年／西村旬平(上郷小4)、高学年／臼沢悠(遠野北小6)  
囲碁△西村太吾(上郷小2)



1月15日 遠野緑峰高生と調理師が商品開発研究

## 琴畠かぶ料理の可能性探る

同校が復活させた伝統野菜・琴畠かぶを普及させるための商品開発実習会(こんたいでーの遠野主催、さんりく基金後援)が遠野みらい創りカレッジで行われました。同校野菜果樹研究班2年生と綾織町出身の調理師・宇夫方洋一さんが商品を試作。地元農家らと意見を交換し、おいしい琴畠かぶ料理を摸索しました。



1月16日 地域で子どもを育てる活動発表会

## 子どもの健やかな成長を目指して

同発表会は市民センター大ホールで開かれ、市内小中学校教職員・保護者ら約180人が参加。遠野市PTA連合会が児童生徒の情報機器利用調査報告をしたほか、秋田県生涯

学習センター・皆川雅仁氏が学校と地域の協働に関する講演を行いました。参加者は、望ましい協働のあり方について理解を深めました。



1月18日 遠野長寿の郷でお祝い会

## 松崎町の畠山ミヨさん100歳

ミヨさんの100歳を祝う会は同所で開かれ、職員や家族らが祝福しました。大正10年に松崎町で生まれたミヨさんは、16歳のときに上組町出身の金次郎さん(故人)と結婚。

主婦として鉄道員の夫を支えながら、7人の子どもを育て上げました。現在は、孫6人・ひ孫7人に恵まれ、同所で穏やかに過ごしています。



12月21日 釜石市長から市内企業と遠野緑峰高へ感謝状

## 花の彩り、被災地へ贈り5年

(有)駒形モータース(佐々木精太郎代表取締役会長)と遠野緑峰高(菊池勇校長、全校生徒157人)に、野田武則釜石市長から感謝状が贈られました。駒形モータースは平成28年から、同校生徒が育てたシクラメンを購入し、東日本大震災で被災した釜石市へ寄付。生徒と一緒に5年間で計510鉢を届けています。



12月19日 映画『どこかに美しい村はないか』上映会

## 遠野の美しさが一本の映画に

上映会はあいりあ遠野で開かれ、市民約200人が来場しました。映画は、遠野に暮らし働く人々の姿と風景の美しさを後世に継承しようと田下啓子さん(埼玉県)が自費制作。



来場者は、附馬牛町で活動していたガラス絵作家、故・児玉房子さんの作品をモチーフに展開される幻想的な遠野の映像に見入りました。

12月22日 いわて農林水産振興協議会会長表彰

## 未来担う若手農業者を表彰

農業経営に意欲的に取り組んでいる多田貴博・春奈夫妻(宮守町達曾部)が同表彰の明日を拓く担い手賞を受賞しました。地域の農地を守りたいと平成26年4月にピーマンや



水稻を中心に本格就農し、ピーマン栽培をけん引。貴博さんは「農業の魅力を伝えられるように努力し続けたい」と意気込みました。

1月10日 令和3年遠野市消防出初式

## 今年は地区ごとに結束高める

出初式は新型コロナ感染拡大を防ぐため市内各地区で開かれ、参加した団員ら658人が地域を守る意気を新たにしました。市民センターで開催した消防団行事を遠野テレビ

で生中継。地区センターや屯所などに集まった各分団員らがテレビ越しに参加したほか、消防車両計63台が出動して市内を巡回しました。

